

学校の教育活動すべてがストップし、**今後の計画がまったく予想で
きかない。**（沖縄・県立・進路指導部）

学校からの定期的な連絡や必要な情報
提供により生徒の**精神的安心を確保**
することが急務。

（北海道・市立・キャリア推進部・1学年担任）

「**学校とは何か**」がわからない部分が出てきた。オンライン授業で事足りるなら通信制高校で十分だ。（宮城・私立・教務部）

現在私は3学年の担当ですが、進路指導ができないことで困っています。Web上でできることとできないことがあります。特に、私の勤務校は**7割が就職なので、スタートの遅れは致命傷になりかねません。**

（千葉・県立・3学年副担任）

**ゴールがまったく
見えない。**

（栃木・県立・教諭）

questionnaire

突然の二斉休校要請、
**その時、
先生たちは？**

いま学校に問われているのは
「**授業をしたいのか**」それとも
「**学びの成立を目指すのか**」。

（滋賀・県立・進路指導課長）

大会は休止、中止により、部活動で秀でていた
3年生が**進路変更**を余儀なくされる。

（沖縄・県立・進路指導部）

**教育格差がより
広がってしまったと
肌感覚で感じる。**

（大阪・私立・進路入試広報）

子どもたちは、ストレスは抱えているものの、この状況に柔軟に対応しようとしています。**対応できていないのは大人の方ではないか。**

（福岡・私立・教務主任・入試広報部）

地震が起きたときもそうだったが、**今まで
やってきたこと、やっていなかっただけ
が一気に表面化する。**（熊本・県立・SSH研究部）

**成績評価をどのようにするのか、という
ことが目下最大の課題。**

（東京・私立・入試広報・総務部 第1学年）

オンライン授業は繋がりがなくなれば繋がりを切ることが容易。これまでもお付き合いで授業を聴いてくれた生徒も、オンラインではそうはいかない。**より教師の力が試される。**

（山形・県立・学年主任）

自分で学びに向かう人間性をどのように育てるかを本気で考える必要がある。もともと社会に出たときに必要となる要素でしたが、今は高校生が「まさに今」試されている状況だと考えているからです。不安なことも多々あると思いますが、これを乗り越えることでお互いに大きな成長に繋がると考えていますので、折を見て生徒にも伝えていきたい。

（熊本・県立・教務部・生徒指導部）



学校のチーム力が大幅に向上し、オンライン化が一気に促進。生徒も、オンラインの方が自分の意見を言う傾向あり。(東京・私立・教育企画部長)

本校の生徒は学力は伸ばしていたものの主体性には欠けていたが、このような日々のなかで、自らを律する心を大きく育てている生徒の姿も目立つ。「ピンチをチャンスに」というスローガンの下がんばっている。(和歌山・私立・学年主任)

Facebook等を通じて、全国の先進的な取組や挑戦的な取組がいろいろと発信され、交流や情報交換が進んだ。さまざまな情報を手に入れることで、学校に提案しやすくなった。(兵庫・県立・進路指導部)

終わったときに、今回の試練ゆえにさまざまなことが以前より良くなったという状態にしていきたい。(広島・私立・教育研究部主任)

学校は社会の最先端を行かなければならないことを強く感じた。未来の人材育成機関として、普段から先取的な取組をしていかなければ、イレギュラーな事態に対応できない。(新潟・県立・進路指導部)

オンラインでの授業に生徒の親和性は高い。対面授業ができないからオンラインというより、通常授業再開後もオンラインの補習授業やオンデマンド方式の講習、その組み合わせなど生徒の学びの幅がより広がるように思う。(兵庫・県立・教育企画推進部長)

「もう元には戻らない」という覚悟を決めなければと思います。(岩手・県立・生徒指導部)

学校の存在価値について改めて向き合う期間になった。限られた教員でも学校運営できること、時間ができれば二極化が進んでしまうことなど、コ罗纳は見たくなかった部分を見える化し、バンドラの箱を開けてくれた。結果的に大きな変化は起るので、自分の在り方が問われていくのだろう。(京都・私立・学年主任)

突然の休校要請という事態を受けて、全国の先生たちは、何に戸惑い、何を感じたかアンケートしてみました。先生たちの生の言葉から、予測不可能な体験を受けての、これからの想いが見えてきました。

まごめ／長島佳子

結果的に教員の働き方改革は非常に進んだ。学校再開後も今回の臨休対応の経験を活かし、生徒の学びの主体を引き出し育てる指導がさらに進むことで、教師の働き方を後退させないようになりたい。(北海道・道立・校長)